

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号） 原発性自然気胸手術後に発症する対側気胸の予測因子
(No.)

当院の実施責任者 柚木 健太郎（気胸研究センター）
(所属)

他の研究機関および なし

各施設の研究責任者（所属）

本研究の目的

原発性自然気胸は肺の表面にブラと呼ばれる嚢胞が発生し破裂することで肺がしぼんでしまう若年者に多い病気です。原発性自然気胸では手術を必要とすることがありますが、術前に行うCT検査では手術を行う反対側の肺にも発生しているブラがしばしば見受けられます。このように偶然発見された反対側のブラも気胸の原因となるのではないかと患者様・御家族は更に不安を感じる事も多い一方で、医療者側も反対側のブラの有無や年齢といった、どのような因子が気胸発症の原因になるのかわからないため、定まった治療方針というものが存在しておらず、十分な説明を行えないジレンマを抱えております。

そこで今回原発性自然気胸を発症し当院で手術を行った方において、どのような要因が今後の反対側の気胸に関係するのかを調べることにしました。調査結果から反対側の気胸発症を予測できれば、根拠をもって患者様に治療方針を提示でき患者様・御家族の不安を和らげることを期待しています。

調査期間 2018年1月1日から2021年3月31日まで

研究の方法 ●対象となる患者さま

(使用する試料等) 上記期間内に当科で原発性気胸と診断され、治療された患者様（227名ほどが対象になる見込みです）

●利用する情報

カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します

試料/情報の他の研究機関への 共同研究施設以外への試料・情報の提供はありません

提供および提供方法

個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。

本研究の資金源 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

(利益相反)

お問い合わせ先 電話：03-3700-1151（代表）

担当者：柚木 健太郎、坪島 顕司

備考